



あきつ

子どもたちの健やかな成長のために

～メディアとの付き合い方を考える学校保健委員会～

インフルエンザによる学級閉鎖の増加により延期されていた学校保健委員会を、先週 16 日（火）に開催しました。

学校保健委員会は、「子どもたち一人一人が毎日元気に、楽しく学校で過ごせるように、みんなで話し合う場」です。今回のテーマは、

『自ら進んで健康づくりに励む秋津っ子

～スマホ・ケイタイの上手な使い方を考えよう～』でした。

保健委員のあいさつに続き、動画を視聴しながらメディアの使い方について考えました。今、子どもたちの身の回りにはタブレット、スマホ、PCなどのICT 機器があり、それらを適切に使いこなす力が求められています。

文部科学省は GIGA スクール構想により「一人一台端末」と高速ネットワークを整備し、AI やビッグデータを活用するこれからの時代を生きる子どもたちに必要な力を育む教育環境づくりを進めています。つまり、これからの社会はメディアや ICT 機器と切り離せない時代になります。正しい使い方を身につけ、自分の生活をよりよいものにしていくことが大切です。

先日、オーストラリアでは 16 歳未満の SNS 利用が禁止されました。ネットいじめ、性的搾取、長時間利用による依存など、子どもの心身への悪影響を防ぐための措置です。会の始まる前に、私から子どもたちへ「メディアは、うまく使えば勉強や楽しみ力の力になります。でも、使い方を間違えると、心や体に悪い影響が出ることもあります」と話しました。

子どもたちが正しく使いこなす力を身につけるためには、私たち大人の声掛けや見守りが欠かせません。この機会に、ご家庭でもメディアとの付き合い方について話し合っただければと思います。



6年生が伝統行事に挑戦～地域とともに門松づくり～

18 日（木）、6 年生が門松づくりに挑戦しました。これは、青少協の島崎会長からお声掛けいただき、実現したものです。最高学年として卒業を間近に控える今、地域の方々と一緒に伝統行事に取り組むことは、大きな意義があります。

「伝統と文化」を引き継ぐ自覚が芽生えるだけでなく、地域の方とのつながりを通して見守られている安心感や、「秋津のよさ」を肌で感じる貴重な機会となります。また、下級生にとっては 6 年生の頼もしさを改めて感じるきっかけとなり、地域を歩き交う皆さんには季節の訪れを楽しんでいただけます。

当日は、門松づくりの作り手である澤田一美さんにお越しいただき、竹を組む最初の工程から丁寧に教えていただきました。ほとんどの子どもたちが初めての経験でしたが、一つひとつの作業に真剣に、そして楽しみながら取り組んでいました。

ぜひ、6 年生と地域の皆さんが協力して作り上げた門松をご覧においでください。

